

新人リハビリセラピストが入職しました



4月に入職した新卒の職員をご紹介します。
今年は、看護師2名、理学療法士4名、作業療法士3名（合計9名）が新しく仲間となりました。今回は新人セラピスト2名にインタビューしました。



Q 入職した理由や動機は？



昨年病院実習に来た際に、先輩方が優しく指導してくださったことや、真摯に患者様と向き合っている姿を見て、自分もこの病院で働きたいと思いました。



病院見学の際に、患者様に真摯に向き合う先輩方と、患者様の笑顔が印象的でした。笑顔があふれる素敵な病院で働きたいと思い入職を希望しました。



Q 現在の心境は？



患者様一人ひとりとコミュニケーションをとりながらリハビリテーションができることにとてもやりがいを感じています。



まだわからないことばかりですが、先輩方から業務を教えていただきながら、夢であった理学療法士として働くことができ嬉しく思っています。

Q 今後の目標は？



現在担当患者様を3人持たせていただいています。それぞれの患者様に合ったリハビリテーションを行えるように一生懸命勉強していきます。



患者様の症状や退院後の生活に合わせたリハビリテーションを提供できるよう、今後自分の知識や経験を増やしていきたいです。

これから現場で色々経験していく新人を、少しずつ成長できるよう病院全体でバックアップしていきます。

アンケートへのご協力をお願いします

広報誌「はーとふる♡みなみ野」についてのご感想をお伺いしております。皆様のお声をいただき、今後のより良い広報活動に役立てて参りますので、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

アンケートはこちらから



アンケート

eisei 医療法人社団永生会
みなみ野病院

〒192-0916 東京都八王子市みなみ野5-30-3
TEL 042-632-8118(代)
TEL 042-632-8154(入院相談)
<https://www.eisei.or.jp/minamino/>



●みなみ野病院は、4つの機能で地域の皆さまに信頼していただける病院づくりを目指しています。今後ともよろしくお願いいたします。



～「医療・介護を通じた 街づくり・人づくり・思い出づくり」を理念とし、
地域の方々を支えていく～ それが私たちの願いです

はーとふる みなみ野

eisei

医療法人社団永生会
みなみ野病院広報誌
2023年 9月 発行

Vol.19
Take Free

〈表紙について〉

ひまわりは、北アメリカ原産の植物で、日本に伝わってきたのは1660年代後半。以来夏の風物詩として広く親しまれています。表紙の「ひまわり」は医療療養病棟の作品です。全体の大きさは縦横1.5m、患者様がちぎった色紙を台紙に貼り付けました。濃淡の色を重ねることで花が立体的に見え、8月の病棟にひととき華やかなひまわり畑が出現したようでした。



院内ギャラリー

7月から8月に作成した季節のディスプレイです。

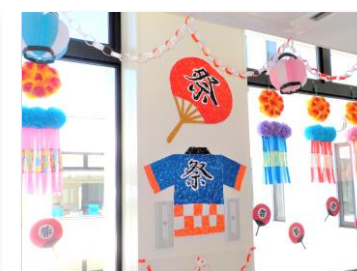
回復期リハビリ病棟



通所リハビリ



医療療養病棟



緩和ケア病棟



医療療養病棟



医療療養病棟



医療療養病棟



緩和ケア病棟



コンテンツ

■院内ギャラリー(7月～8月)

■障がい理解し、支援するための特別企画「高次脳機能障がい」を知る

■新卒職員紹介

■「はーとふる♡みなみ野」についてのアンケートご協力のお願い

■企画編集・発行／医療法人社団永生会 みなみ野病院 広報委員会

「障がい」を理解し、「支援」するための特別企画

みなみ野病院では、様々なご病気により障がいを負ってしまった患者様への医療を提供しております。今回は、交通事故や脳卒中などで脳に損傷が起きたときに現れる「高次脳機能障がい」について、その状態と支援の方法を、当院理学療法士（PT）が解説します。

PT



「高次脳機能障がい」を知って、より良い支援をしよう！

1. 高次脳機能障がいとは？

脳卒中や交通事故などで脳を損傷した後に、記憶力が低下したり、今まで出来ていたはずのことが出来なくなる、言葉が話せなくなる、急に怒りっぽくなるなどの変化が起こる場合があります。これらの症状を「高次脳機能障がい」といいます。

●病気やケガによる「脳の損傷の後遺症」

2. 高次脳機能障がいの主な原因は？

脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）

※約7割はこの脳血管障がい原因だと言われています。

脳外傷（脳挫傷、びまん性軸索損傷など）

※交通事故などで外から強い衝撃を受けたことが原因です。

その他の原因 脳炎、脳腫瘍、低酸素脳症（一酸化炭素中毒、心肺停止蘇生後）

だれもが、ある日突然なるかもしれない障がいです。



3. 高次脳機能障がいの症状は？

●外見からわかりにくい
●一人ひとり症状が違う



注意障がい

今必要な事に対して注意・集中することができない。すぐ気が散る。

社会的行動障がい

行動や感情を状況に合わせてコントロールできない。我慢ができない。



記憶障がい

新しいことの記憶が困難。最近のことが思い出せない。約束ができない。

失語症

「話す」「聞く」「読む」「書く」ことができない。言いたい言葉が出てこない。

これらの他にも様々な症状があります。単独で現れることもあります。重複していることが多く、症状の重なり方によって、一人ひとり違ってきます。

4. 高次脳機能障がいのリハビリとサポート

高次脳機能障がいに有効なのは、症状を正確に把握し、その上で**適切なリハビリを行う**ことが大切です。それぞれの症状が緩和されるためにはどうすれば良いか考えていきましょう。

- 基本は適切なリハビリ
- それぞれの症状への対応方法を考える

5. 対応の基本

- 受傷後、日常生活や対人関係、仕事などがうまくいかず、自信をなくし、混乱や不安の中にいることを理解しましょう。
- これまでの生活や人生観などを尊重した関わりを持つようにしましょう。



具体的には・・・

- ゆっくり、わかりやすく、具体的に話す。
- 情報は、メモに書いて渡し、絵や写真、図なども使って伝える。
- 何かを頼むときには一つずつ、具体的に示す。
- 疲労やいらいらする様子が見られたら一休みして気分転換を促すようにする。
- 手順を簡単にする、日課をシンプルにする、手がかりを増やすなどの環境の調整をすることが大切。



6. 高次脳機能障がいの変化と回復

- 何年もかけてゆるやかに変化していきます。回復の状況によっては、再び職業生活に挑戦することもあります。
- 人それぞれ違う障がいの特徴を、周囲が理解しサポートする必要があります。
- 思いがけない病気や事故による障がいのため、ご本人や家族にとって、以前との違いを理解し受け止めるのに時間がかかります。

- できないことより、出来ることを見つけよう。
- 焦らずゆっくり、生活の中でリハビリを。



7. 福祉サービスの情報と利用

後遺症の状況によっては障害者手帳を取得して、さまざまな福祉サービスを利用することができます。当事者やご家族が地域での継続的な支援を受ける際には、下記相談窓口が様々な種類の支援機関をご紹介しますので、どうぞご利用ください。

- 八王子市高次脳機能障害者相談室『はっば』
Tel : 080-1254-7480（月～土/9：00～17：00）
- 南多摩高次脳機能障害支援センター
Tel : 042-666-5882 Mail : info@m-kojino.com